

○杉並区基本構想に示されたまちづくり・地域産業分野の取組の方向性との整合を図り、計画目標は引き続き「暮らしや環境と調和した地域産業を育み、にぎわいと活力のあるまちをつくる」とする

○前回改定（令和４年）以降の社会経済状況の変化や課題に対応するため、各取組項目（中小企業、就労、商店街、観光・アニメ、都市農業）における取組を充実させるとともに、新たな取組項目「地域経済循環の推進」を追加し、将来を見据えた地域経済循環の手法について検討をしていく。

計画目標	暮らしや環境と調和した地域産業を育み、にぎわいと活力のあるまちをつくる		
計画期間	令和４年度（2022年度）～令和12年度（2030年度）		令和９年度（2027年度）～令和12年度（2030年度）
取組項目	取組方針	具体的な取組内容	主要な課題、新たに取り入れたい取組 など（案）
中小企業 に関する取組	中小企業の経営力強化と創業の促進	取組① 商工相談(経営相談・創業相談)窓口の充実【重点】	【主要な課題】 事業者実態調査では、「経営上抱えている課題」は、「仕入価格の上昇」に次いで「人材の確保・育成」が多くなっている。今後取り組みたいデジタル化については、「業務の効率化に組み組みたい」とする事業者も多いが、「取り組む必要がない」とする事業者も多く、デジタル化に向けた認識に相違がある。区に求める支援としては、「特になし」(59.1%)に次いで「費用面の支援」が多くなっている。 また、区内中小事業者の後継者不足が課題となっている中、地域経済の持続的な発展を図るため、事業承継支援とともに創業支援及び創業後の伴走型支援に力を入れる必要がある。 今後全ての事業者に必要な脱炭素に向けては、節電・省エネに取り組む事業者が多いが、「必要性が感じられない」とする事業者も多く、具体的な取組事例等を示しつつ、実施可能な取組への支援策を検討する必要がある。 【実行計画等に盛り込む予定の取組】(新項目を含む) (1) 人材確保の支援 融資の資金使途に採用経費や新規雇用にかかる賃金等が含まれる場合の利率等優遇の実施や求人情報サイトの充実により人材確保を支援 (2) デジタル化の推進 区内中小企業等のデジタル技術導入に要する経費の一部を助成 (3) 環境負荷軽減の取組への支援 融資の資金使途に省エネ設備等の導入経費が含まれる場合に利率を優遇。環境部門が実施する、事業者も対象とした再エネ導入助成等を同計画に盛り込んでいく。 【拡充させたい項目】 取組③「創業支援の拡充」 創業後数年で廃業する事業者が多いことから、創業後の経営の安定化を図る
		取組② 中小企業資金融資あっせん制度の充実	
		取組③ 創業支援の拡充【重点】	
		取組④ 生産性向上の取組支援	
		取組⑤ ビジネスチャンスにつながる交流の場の拡大	
		取組⑥ 区内産業の魅力発信と分析	
		取組⑦ 交流自治体と連携した産業交流の推進	
		取組⑧ 福利厚生事業(中小企業勤労者福祉事業)の運営・充実	
就労 に関する取組	就労支援と多様な働き方の推進	取組① 伴走型の就労支援の充実【重点】	【主要な課題】 区民意識調査では、「働く上で重視する条件」は「給与・待遇」に続いて「勤務場所」が多かった。また、「ワーク・ライフ・バランスのために希望する取組」は、「柔軟な勤務時間制度」が一番多かった。 就労意欲のある方が、それぞれのライフスタイルに合わせた働き方が選択できるような取組が求められる。また、就労支援が区内事業者の人材確保にもつながるよう、マッチングの充実等、新たな支援策を講じる必要がある。 【拡充させたい項目】 取組① 伴走型の就労支援の充実 取組⑤ 区内企業のマッチングにつながる支援 区内企業の特徴や魅力の発信を強化するため求人情報サイトの見直しを行い、求職者と区内企業のマッチングの可能性を高めるとともに、就労支援センターでの丁寧な相談業務を実施していく。
		取組② 若者、女性、高齢者等の多様な働き手の支援の拡充【重点】	
		取組③ 関係機関と連携した就労支援【重点】	
		取組④ 就労準備訓練・社会適応力訓練の支援【重点】	
		取組⑤ 区内企業のマッチングにつながる支援	
		取組⑥ ワーク・ライフ・バランスの啓発促進	
		取組⑦ 勤労者の心とからだの健康づくり支援	
		取組⑧ 福利厚生事業(中小企業勤労者福祉事業)の運営・充実<再掲>	
商店街 に関する取組	地域に根ざした商店街の活性化	取組① 地域ににぎわいをもたらす商店街づくりの推進【重点】	【主要な課題】 商店街アンケート調査では、商店会が抱える問題点として、「商店会役員の後継者不足」や「活動が活発でない」との回答が多く、立地環境別にみると、駅周辺以外の商店会では特に景況の衰退傾向が強い結果となっている。 また、デジタル化への取組は実施状況が二極化しており、駅周辺以外の商店会では、キャッシュレス決済やSNS等を活用した販売促進・情報発信への取組が十分に進んでいない傾向がある。 さらに、区民意識調査では、「商店街に望むこと」として「品揃えの充実」を希望する声が多い一方、小規模な商店街では大型店と同様の品揃えを実現することは困難である。こうしたことから、今後、商店街は買い物場としての機能に加え、防犯・見守り、地域住民の交流、防災など、地域コミュニティを支える拠点としての公益的な役割をより一層高めていくなど、商店街の持つ役割を再構築する必要がある。 【実行計画等に盛り込む予定の取組】 地域課題の解決に資する取組の支援 駅前以外の商店街を中心に、防災・防犯活動、見守り活動、環境美化、地域住民との交流、空き店舗の活用など、地域課題の解決に資する取組を支援する。また、商店街が地域コミュニティの拠点としての役割を果たせるよう、地域団体等との連携を促進し、継続的な活動につながるアウトリーチ型支援を行う。
		取組② 地域団体等との連携による地域の活性化【重点】	
		取組③ 快適に買い物ができる商店街づくりの推進【重点】	
		取組④ 安全・安心で環境にやさしい商店街づくりの推進【重点】	
		取組⑤ 専門家の派遣による商店街の経営力強化	
		取組⑥ 創業支援の拡充 <再掲>《新規》	
		取組⑦ 商店街のデジタル化推進策の検討《新規》	
		取組⑧ 商店街の組織力強化	
		取組⑨ スケールメリットを生かす事業、基盤強化の支援	
観光・アニメ に関する取組	杉並の魅力を生かしたにぎわいの創出	取組① 産業団体等との協働・連携による杉並の魅力発信【重点】	【区民意識調査・来街者アンケート調査等 より】 来街者の多くが区民や近隣住民によるマイクロツーリズムであることから、区内の回遊性向上や継続的な来街を促進し、安定的な消費の創出につなげる必要がある。 地域の賑わいに対する意向に地域差は見られないことから、区全域の経済活性化につながる魅力発信の強化が課題となっている。 「中央線あるあるプロジェクト」HPや「すぎなみ学倶楽部」の認知度は低く、効果的な情報発信手法を見直す必要がある。 アニメ施策については、「アニメ制作会社と連携したイベント等の実施」に対する要望が高い。 令和8年度から開始した「アニメ制作会社連携会議」においては、多くの事業者がアニメの力を活用した地域活性化や商店街振興、将来のアニメ産業を担う子ども達を対象としたイベント等の実施などに高い関心と貢献意欲を示していることから、こうした事業者が積極的に関わる取組を進める必要がある。 【これからの観光施策の方向性(案)】 ※現行の取組項目は再構築する必要があり、方向性としては下記のとおり考えられる。 ・多様な主体の参画による持続可能な観光振興体制の構築(観光コンテンツ創出や商品開発等を支援する補助制度の創設等) ・杉並らしい地域資源を活用した魅力発信の強化(総合観光情報サイトの再構築、戦略的な来街者誘致) ・回遊性の向上と関係人口の拡大による地域経済の活性化と「訪れたいまち」「住みたいまち」の実現 ・アニメ関係事業者と連携した、アニメを活用した誘客促進や地域経済の活性化、地域の魅力づくり等 ・杉並アニメーションミュージアムを核とした「アニメのまち杉並」のブランドの確立 ・国内外に向けた効果的な情報発信・PR ・アニメ関連事業者の人材確保や定着に向けた従業員の居住支援などの検討
		取組② 民間事業者のノウハウを活用した杉並の魅力発信【重点】	
		取組③ 区民との協働による杉並の魅力発信【重点】	
		取組④ インバウンド需要の回復に向けた取組	
		取組⑤ 「なみすけ」の普及・活用等による区の知名度向上に向けた取組	
		取組⑥ 杉並アニメーションミュージアムを活用したにぎわいの創出【重点】	
		取組⑦ 区内アニメ制作会社等との連携の推進【重点】	
		取組⑧ 近隣自治体等との連携によるアニメ等を活用した広域的な情報発信	

取組項目	取組方針	具体的な取組内容	主要な課題と新たに取り入れたい取組など（案）
都市農業に関する取組	多面的な機能を有する都市農業の保全	取組① 都市農地の保全と適正管理【重点】	【主要な課題】 高齢化・後継者不足等により、農家戸数・農地面積が年々減少しており、農業者に対する支援や、ニーズに応じた農業ボランティア制度の充実のほか、後継者のいない農地等の活用についての取組・検討が必要となっている。 区民意識調査では、区内の農地について「農業を身近に学び楽しめる場を増やしてほしい」と考える区民が約4割と高い割合であった。農にふれ合う機会の参加については、「杉並産の野菜を使ったレストランに行く」「杉並産の野菜、果物や花を購入する」など間接的なふれあいについて「今後取り組みたい」とする割合が高く、潜在的な参加意向がよみとれた。農にふれ合う機会の創出と地産地消の取組を推進しながら、区全体で農地を支えていく意識を醸成していくことが求められる。 【拡充させたい項目】 ・取組①「都市農地の保全と適正管理」 農地保全年針を策定し、相続等に伴い農家がやむを得ず売却せざるを得ない農地等の取得・活用について検討する。 ・取組③「地産地消の推進」 学校給食「地元野菜デー」や杉並産農産物の学校給食への利用拡大、飲食店・商店街との連携を拡充 ・取組⑦「区民が農業にふれあう場の提供」 区民農園等での農にふれあう機会の充実
		取組② 都市農業の維持・継続の支援【重点】	
		取組③ 地産地消の推進	
		取組④ 杉並産農産物の魅力向上	
		取組⑤ 防災兼用農業用井戸の整備促進	
		取組⑥ 農業と福祉の連携【重点】《拡充》	
		取組⑦ 区民が農業にふれあう場の提供	
		取組⑧ ボランティア等の活用支援	
		取組⑨ 各種情報媒体・イベントを活用した積極的な農業情報の発信	
		取組⑩ 他自治体等との連携による都市農地の保全と都市農業の振興	
地域経済循環に関する取組	地域経済循環の促進	【新規】 取組① 地域経済循環に向けた取組の推進	【新規】 区民生活を支え、地域のにぎわい創出を担う区内産業の持続的な発展を図るためには、地域内消費を促進する仕組みを構築するとともに、区内事業者への支援・育成や就労支援などを通じて、地域経済の好循環を創出することが必要となる。 このため、地域経済を支える事業者や関係団体等との意見交換会を実施し、地域経済を取り巻く課題やニーズを把握した上で、区の地域特性や産業構造を踏まえながら、地域経済の好循環の向上に資する方策について検討を進める。

その他

杉並区総合計画・実行計画改定における新しい視点

■スマートウェルネスシティ(SWC)
 ウエルネス(＝健幸；個々人が健康かつ生きがいをもち、安心安全で豊かな生活を営むことのできること)」をこれからの「まちづくり政策」の中核に捉え、健康に関心のある層だけが参加するこれまでの政策から脱却し、市民誰もが参加し、生活習慣病予防及び寝たきり予防を可能とするまちづくりを目指す取組のこと